

kanamoto examiner

カナモトエグザミネー

株主の皆様ならびに投資家の皆様へ



vol.59

第48期(2012年10月期)第1四半期号

役員の紹介

(2012年4月1日現在)

第47回定時株主総会で取締役ならびに監査役が、取締役会および監査役会で代表取締役社長、常勤監査役、執行役員がそれぞれ選任されました。また、既報のとおり2012年4月1日付で人事異動を行いました。

取締役

金本 寛中* 代表取締役社長

多くの株主の皆様からいただく「役員の人となりを知りたい」というご要望にお応えするため、役員各人に、右頁に記した内容のアンケートを実施しました。当社における役職とともに、その回答をここに掲載いたします。

- ① 錬…修練の「錬」です
- ② 三陸海岸大津波(旧題：海の壁／吉村昭 著)
- ③ 散歩、買い物、楽器練習
- ④ 当社株式を長期保有していただけますよう、中長期的な収益拡大に努力いたします
- ⑤ 人材育成の強化、内外営業拠点網のスクラップアンドビルド



卯辰 伸人 常務執行役員、経理部長

- ① 励 ② 危機の思想(西部邁／佐伯啓思 編著)
- ③ 一週間分の食料のスーパー買い出し
- ④ 今後の事業戦略の展開にご期待下さい
- ⑤ 適正、健全な財務体質の構築に努力



金本 哲男 常務執行役員、営業統括本部長、レンタル事業部長

- ① 歩…外況に惑わされず、1歩1歩確実に
- ② ザ・ラストバンカー(西川善文 著)…感銘というよりも、大変面白かった
- ③ 料理食材の買い物と調理 ④ 企業価値の向上に努めます
- ⑤ 復興対応と今期業績計画の必達



成田 仁志* 業務部長

- ① 軸 ② 国文学再考(大石久和 著)
- ③ ゴルフレッスン and 読書(警察小説)
- ④ 一層の企業価値向上に努めてまいります
- ⑤ グループ経営の強化



平田 政一* レンタル事業部副事業部長、特販部長

- ① 技 ② 大人の雑学力(知的生活追跡班 編)…自身の雑知識薄を実感 ③ 寒冷対策、ビデオ観賞多し
- ④ 業容拡大を目指し全力を尽くします
- ⑤ オールカナモトで福島をサポートいたします



北方 敬一* レンタル事業部部長(株式会社カンキ担当)

- ① 前 ② 舞い降りた天皇(加治将一 著)
- ③ 1,000kcalの消費を目標に運動
- ④ 今期も精一杯努めます
- ⑤ 前期以上の結果を出すこと



磯野 浩之* 総務部長、社長室長

- ① 信 ② 下町ロケット(池井戸潤 著)
- ③ 藻岩山(531m)に登って汗かいています
- ④ 社業向上のため精一杯頑張ります
- ⑤ 社会との繋がりの一層の強化



金本 龍男* レンタル事業部副事業部長 レンタル事業部北海道地区統括部長

- ① 龍 ② ボクの音楽武者修行(小澤征爾 著)
- ③ 音楽鑑賞、Eギター演奏、妻と買い物
- ④ 道民と一緒に北海道のため行動いたします
- ⑤ 東北のインフラ復興に全力投球



長崎 学* レンタル事業部関東地区統括部長

- ① 協 ② 先送りできない日本"第二の焼け跡"からの再出発(池上彰 著)
- ③ 散歩(都内歴史巡り)
- ④ 震災復興と社会的貢献に努めます
- ⑤ 最大商圏の段階的拡充と企業価値の向上



麻野 裕一* 債権管理部長

- ① 進…震災の復興前進に注力 ② 清貧と復興 土光敏夫100の言葉(出町謙 著)
- ③ スポーツジムで汗を流す、家庭サービス
- ④ 大震災の復興支援に全力で取り組んでいます
- ⑤ 攻守バランスのとれた信用リスク管理に注力



椋梨 直樹* 海外事業部長

- ① 改 ② 蝸ノ記(ひぐらしのき／葉室麟 著)
- ③ 読書、睡眠
- ④ 海外事業展開を注目下さい
- ⑤ 改革と改善



【アンケート内容】

- ① 今年の自身を漢字一文字で表現 ② 最近読んで感銘を受けた一冊 ③ 休日の過ごし方 ④ 株主様へ一言 ⑤ 今期の目標

橋口 和典* 情報機器事業部長、事業開発部長

- ① 挑 ② ストーリー…常にそうありたいと思っている ③ 海の翼(秋月達郎 著) …高校の同級生 ④ ゴルフの練習…上手くなりたいと思っている ⑤ カナモトの将来にご期待下さい ⑥ 東北の復興に全身全霊を込めて取り組みます



門脇 克俊 取締役

- ① 閑 ② 最終講義(内田樹 著) ③ 家族サービス ④ 経営の不祥事が多発する中、矜持を示してまいります ⑤ 復興需要の大胆な獲得と、コンプライアンスの一層の確立



上谷内 祐二 取締役

- ① 挑 ② ストーリーとしての競争戦略(楠木建 著) ③ ゴルフ、旅行、読書 ④ 行動する社外取締役を目指します ⑤ 新エネルギー、復興需要



(注1) *印の取締役は、執行役員を兼任しております。

(注2) 取締役門脇克俊氏及び取締役上谷内祐二氏は社外取締役であります。

(注3) 役職名は当社におけるもののみを記載しており、一部兼務役職を省略しております。

監査役

澤田 紳六 常勤監査役

- ① 変 ② 特にありません ③ テレビ観賞 ④ 心から感謝しております ⑤ 自分の職責を果たすこと



金本 栄中 常勤監査役

- ① 電 ② イノベーションのDNA(クレイトン・クリステンセン/ジェフリー・ダイアー/ハル・グレガーセン 著) ③ 水産市場での買い物とゴルフ ④ ディスクロージャーしている会社です ⑤ リスクコントロールに注力



横田 直之 常勤監査役

- ① 躍…社会・会社を含めすべて今年は、こうあって欲しいものです ② 神々の山嶺(夢枕獏 著)…小説で恐縮です ③ 強いて言えば、夏はゴルフ・冬はスキー ④ 自己研鑽に努め、リーガルマインドを養います ⑤ 現場に立脚した監査活動を遂行します



橋本 昭夫 監査役

- ① 苛 ② 日本のいちばん長い日(半藤一利 著)…ガバナンスの重要性を再確認できた ③ アウトドア、キャンプ、家庭菜園、庭仕事、積雪期は冬眠 ④ 経営陣へのプレッシャーが会社を育てます ⑤ 業績を確保しつつ、併せて震災復興に最大限の協力を



辻 清宏 監査役

- ① 信 ② 「閑」のある生き方(中野孝次 著) ③ 妻と食料品などの買い物 ④ 実直な監査に努めます ⑤ 環境の変化に対応した監査



直井 院 監査役

- ① 熱 ② 救国のレジリエンス(藤井聡 著)…大規模投資による日本経済の活性化 ③ 「体を動かす」ことを心掛ける ④ 経営状態の適切な情報提供に努めます ⑤ 関係会社経営状況の的確な把握



(注) 監査役橋本昭夫氏及び監査役辻清宏氏、監査役直井院氏並びに監査役大場久夫氏は社外監査役であります。

大場 久夫 監査役

- ① 健 ② 老いの才覚(曽野綾子 著) ③ 体力強化と育爺もどき ④ 株主様の負託に応えられるよう頑張ります ⑤ 内部統制システムの更なる強化



執行役員

熊谷 浩 情報システム部長

- ① 知 ② フリー(クリス・アンダーソン 著) ③ 温泉でリフレッシュ ④ 属人性を排除し業務の透明性の確保に努めております ⑤ ITでグループ会社の課題の見える化を促進する



問谷 悟 レンタル事業部部長(九州地区担当)

- ① 志 ② 言葉力が人を動かす(坂根正弘[コマツ会長] 著) ③ DVD映画鑑賞、犬との散歩 ④ 環境配慮と地域貢献活動を積極的に推進します ⑤ 人材育成を主眼に「現場・現物・現実・原理・原則」の「5ゲン主義」



1Q

2011.11

- 仙台営業所(仙台市宮城野区)が仮設事務所から本事務所(災害前の場所)に移転
- IR 平成23年10月期業績予想の修正について発表

2011.12

- 宮古営業所(岩手県下閉伊郡)を開所
- IR 第47期(2011年10月期)決算発表
- IR 【東京】第47期決算説明会を実施(機関投資家向け)
- IR ラジオNIKKEIの投資家向け番組「夕焼けマーケット 投資って楽しいねっ！」に出演
- IR 役員退職慰労金制度の廃止および打ち切り支給について発表
- IR 剰余金の配当について発表



2012.1

- IR 投資単位の引き下げに関する考え方および方針等について発表

- 釜石営業所(岩手県釜石市)を開所
増加する復旧・復興工事需要に対応するため釜石営業所を開設。2011年10月に開設した気仙沼営業所(宮城県気仙沼市)と12月に開設した宮古営業所(岩手県下閉伊郡)に続き、震災後同地域において3拠点目の開設となります。



- 第47回定時株主総会を開催

2Q

2012.3

- IR IRフォーラム2012大阪(ツバルの森主催)に出展
- IR 第48期(2012年10月期)第1四半期決算発表

- 東証IRフェスタ2012に出展
3月9日、10日に東京国際フォーラムで開催された「東証IRフェスタ2012」に今年も出展しました。ブース内でのミニ会社説明会に加えて、特設会場でも会社説明会を実施。大勢の個人投資家の皆様に「カナモト」をPRさせていただきました。



- IR ラジオNIKKEIの投資家向け番組「夕焼けマーケット 投資って楽しいねっ！」に出演
- 空知・道北の各拠点で中古展(即売会)を開催

2012.4

- 入社式／新人研修(今年度の新入社員は38名)
- IR 【札幌】上場企業合同説明会に参加(札幌証券取引所)



- サクスフェア2012：苫小牧を皮切りにスタート
今年もサクスフェアがスタート！初回は4/14に苫小牧で開催、まだまだ肌寒さが残る道南での開催でしたが、多くの地元の方々にお越しいただきました。
5月以降も各地で予定しておりますので、お近くで開催する際は、ぜひご来場をお願いします。
日程・会場につきましては当社ホームページ(www.kanamoto.co.jp)で逐次ご案内しています。

開催スケジュール	
江別	5/12
北見	5/19・20
帯広	6/23・24
登別	7/7
旭川	9/8・9

とってもいいモノ・読者プレゼント

今号のプレゼントは、日本車輛製造様からご提供いただいた東北新幹線 E5系 はやぶさの「くるっぴー(電動ミニカー)」です。テーブルなど平らな場所を走らせて遊ぶこのおもちゃ。テーブルの端などに差しかけると、その商品名のとおり「くるっ！」と方向転換して落ちずに走り続けちゃうんです。

巻末のアンケートハガキをご返送いただいた方の中から、抽選で20名様にお贈りします。



ご応募の締め切りは5月25日(当日消印有効)です。
なお、当選の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。

第48期第1四半期決算の概況 〔平成23(2011)年11月1日から平成24(2012)年1月31日まで〕

●連結経営成績(累計)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	四半期(当期)純利益 (百万円)	EPS (円)
48期第1四半期	20,915 (14.4)	2,316 (107.9)	2,176 (122.1)	1,165 (228.7)	35.51
47期第1四半期	18,280 (△2.2)	1,114 (△33.2)	979 (△38.6)	354 (△58.4)	10.80

●連結業績予想

48期第2四半期	36,330 (2.9)	2,250 (30.5)	1,900 (34.9)	830 (-)	25.28
48期通期	72,610 (2.1)	3,780 (30.1)	3,040 (35.7)	1,350 (15.8)	41.12

(注) 売上高、営業利益、経常利益、四半期(当期)純利益における括弧内の数字は、対前年同四半期増減率(%)を示しております。

〔経営環境〕

当第1四半期連結累計期間のわが国の経済は、東日本大震災による直後のサプライチェーン寸断が復旧したことから生産部門の改善が進み、また被災地の復旧需要の下支えにより表面的には持ち直しの傾向となりました。その反面、欧州債務

問題から派生した世界経済の減速、歴史的な円高、また、日本企業の生産基地が多いタイの大洪水による影響等、今後の企業業績への懸念要因から景気は総じて足踏み状態となり、依然として先行き不透明な状況で推移いたしました。

〔第1四半期の連結業績〕

当社グループが関連する土木建設市場におきましては、東日本大震災の復旧・復興需要により建設工事受注は増加傾向にありましたが、全国的に見ると予算縮小に伴う公共工事削減の動きが依然と続いていること、また、世界経済の先行き不透明感を受けて民間設備投資に慎重姿勢が広がっていることもあり、その経営環境は地域によって二極化が進みました。建機レンタル市場においても、事業者の拠点展開地域や保有する建機の種類などにより、同様の傾向が生じております。このような中、当社グループは、東日本の被災地域および台風災害・集中豪雨災害地域での社会資本の復旧・復興需要に

鋭意対応したほか、情報化施工をはじめとする新技術や省力型新商材の採用・提供を積極的に進めました。加えて、資産の適正配置、経費削減など、選択と集中を徹底したことが功奏し、当初計画に比べ売上・利益ともに大きく伸長しました。これらの結果、2012(平成24)年10月期第1四半期の連結売上高は209億15百万円(前年同期比14.4%増)となりました。利益面につきましては、営業利益は23億16百万円(同107.9%増)、経常利益は21億76百万円(同122.1%増)、また、四半期純利益は11億65百万円(同228.7%増)となりました。

■事業種類別売上高および売上比率



92.2% **建設関連事業** 19,288百万円 (対前年同期比 15.9%増)

7.8% **その他の事業** 1,626百万円 (対前年同期比 0.5%減)
(鉄鋼関連事業・情報通信関連事業など)

[事業種類別セグメントの業績]

建設関連事業

建機レンタルにつきましては、震災・豪雨災害などの復旧需要に加え、記録的な降雪による除雪関連商品の需要増、そして、被災地への建機集約による他地区での建機の需給改善もあって、当社グループにおいては全地域で売上高が対前年を上回る傾向にありました。

建設関連事業の売上高を地域別にみますと、北海道地区は得意分野の土木工事のほか建築工事についても強力な営業展開を実施したことなどから当第1四半期の売上高は前年同期比7.6%増となりました。

東北地区は日本海側の除雪需要もありましたが、被災3県の復旧・復興需要関連工事が進み、同44.8%増と大幅に伸長いたしました。関東地区は三環状(圏央道、外環、中央環状線)工事など公共事業のほか首都圏でのマンション建設など一部回復傾向にあり同15.4%増、近畿中部地区は大都市圏の民間設備投資が停滞を脱し同6.2%増、九州沖縄地区は豪雨災害対策工事増等から同13.9%増と大きく伸長しました。

また、国外に関しましては、上海金和源建设工程有限公司が

内陸部に順次営業を展開したこともあり、同25.1%増でありました。

一方、海外向け中古建機販売につきましては、震災需要への優先対応から販売の順延をしていることもあり、当初の計画どおり同36.2%減となりました。

以上の結果、建設関連事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は192億88百万円(前年同期比15.9%増)、営業利益は22億37百万円(同118.6%増)でした。

その他

北海道で展開する鉄鋼製品販売事業については、震災の影響から建設工事の遅延があり、当第1四半期の売上高は前年同期比2.6%減でありました。一方、情報通信関連事業はパソコンレンタル需要も人材派遣とともに伸長し同15.3%増でありました。

以上の結果、その他の事業の当第1四半期連結累計期間の売上高は16億26百万円(前年同期比0.5%減)、営業利益は40百万円(同13.2%減)となりました。

[特記すべき事業展開と拠点新設閉鎖の状況]

当第1四半期における拠点の新設・閉鎖は、新設は宮古営業所(岩手県下閉伊郡山田町)と釜石営業所(岩手県釜石

市)の2カ所、閉鎖は占冠機械センター(勇払郡占冠村)、胆沢機械センター(岩手県奥州市)の2カ所でした。

連結財務諸表

連結損益計算書(累計)

(単位:百万円)	第47期第1四半期 (2010.11.1~2011.1.31)	第48期第1四半期 (2011.11.1~2012.1.31)
① 売上高	18,280	20,915
売上原価	12,723	14,099
売上総利益	5,556	6,815
販売費及び一般管理費	4,442	4,498
② 営業利益	1,114	2,316
営業外収益	81	121
営業外費用	215	261
③ 経常利益	979	2,176
特別利益	7	21
特別損失	161	26
税金等調整前四半期純利益	825	2,170
法人税、住民税及び事業税	320	873
法人税等調整額	149	111
少数株主損益調整前四半期純利益	355	1,185
少数株主利益	0	19
④ 四半期純利益	354	1,165

連結包括利益計算書(累計)

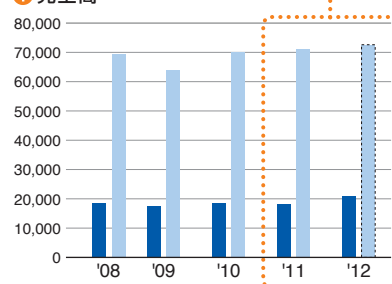
(単位:百万円)	第47期第1四半期 (2010.11.1~2011.1.31)	第48期第1四半期 (2011.11.1~2012.1.31)
少数株主損益調整前四半期純利益	355	1,185
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	225	60
為替換算調整勘定	△7	5
その他の包括利益合計	217	65
四半期包括利益 (内訳)	573	1,251
親会社株主に係る四半期包括利益	575	1,228
少数株主に係る四半期包括利益	△2	22

第1四半期のPoint

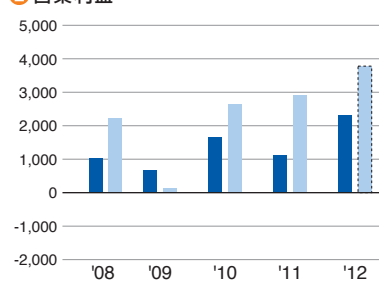
東日本の被災地域および台風災害・集中豪雨災害地域での社会資本の復旧・復興需要に鋭意対応したほか、情報化施工をはじめとする新技術や省力型新商材の採用・提供を積極的に進めたことなどから連結売上高は対前年同期比14.4%増となりました。

■ 第1四半期 ■ 通期 ■ 通期予想 単位:百万円

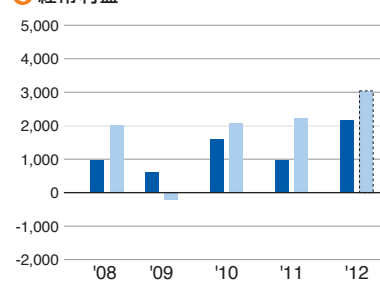
① 売上高



② 営業利益



③ 経常利益



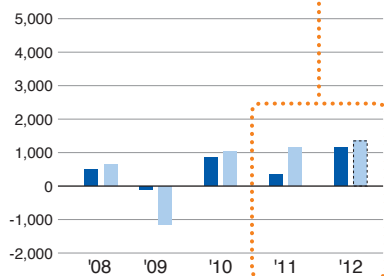
連結貸借対照表

(単位:百万円)	第47期第1四半期 (2011.1.31)	第48期第1四半期 (2012.1.31)
(資産の部)		
流動資産	36,751	44,659
固定資産	71,944	78,882
有形固定資産	65,956	73,584
無形固定資産	586	339
投資その他の資産	5,401	4,959
⑤ 資産合計	108,695	123,542
(負債の部)		
流動負債	46,213	48,066
固定負債	25,143	37,002
負債合計	71,357	85,068
(純資産の部)		
株主資本	36,446	37,751
資本金	9,696	9,696
資本剰余金	10,960	10,960
利益剰余金	15,814	17,118
自己株式	△25	△24
その他の包括利益累計額	328	218
その他有価証券評価差額金	373	259
為替換算調整勘定	△44	△40
少数株主持分	563	503
⑥ 純資産合計	37,338	38,473
負債純資産合計	108,695	123,542

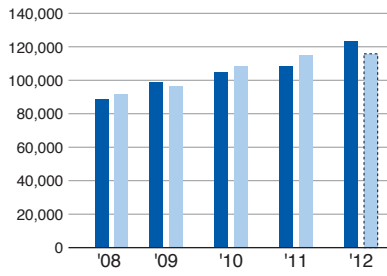
第1四半期のPoint

当社グループにおいては全地域で売上高が対前年を上回る傾向に加え、資産の適正配置、経費削減などにより四半期純利益は対前年同期比228.7%増と大きく伸長しました。

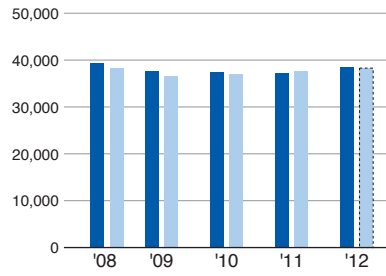
④ 四半期(当期)純利益



⑤ 総資産



⑥ 純資産



東日本大震災の対応④——今後の展望

今夏以降の需要増大に対応するため、引き続き支援活動に尽力してまいります。

これまで小誌でもお伝えしているとおり、当社は震災直後から被災地への支援機材・物資の搬入を実施、現在も建設機械・機材を集中的に投入するなど復旧・復興の一翼を担っております。また、日に日に増加する復旧・復興工事需要に対応するため宮城県と岩手県に3営業所を開設したほか、全国の当社拠点から整備スタッフを応援部隊として派遣するなど、支援体制の強化に努めております。

各自治体による復興予算の執行が本格化する今夏以降、港湾や河川など社会インフラの復旧、そして宅地の高台移転などの需要がさらに増加することが予測されています。こうした需要に応えるべく、当社は瓦礫処理のみならず、基礎・地盤改良など当社グループの“強み”を発揮できる分野においても、引き続き復旧・復興の一助となるよう鋭意努力していく所存です。☑



岩手県石巻市で瓦礫処理を行う当社建機



今夏以降、港湾などのインフラ復旧工事がさらに本格化する見込み。写真はいわき港湾で使用されている当社建機

取扱商品のご紹介

太陽光発電システム

今回で紹介するのは、クリーンエネルギーを創出する次世代システムとして、さまざまな分野でニーズが高まっている「太陽光発電システム」です。

CO₂削減や温暖化防止に有効な“新エネ”として注目される「再生可能エネルギー＝クリーンエネルギー」。特に3.11以降、その位置づけはより重要なものになりました。なかでも日本では、自然特性上「太陽光発電」は最も有望なクリーンエネルギーのひとつとして、電卓、時計から人工衛星にいたるまで、さまざまな分野でニーズが高まっています。

カナモトは、注目の太陽光発電システムの導入をお手伝いしています。耐雪性能を有した高出力のシステムモジュールを商品ラインナップしています。ご提供するのは、販売から設計・施工までのフルサポートです。統合的で効率的なシステムの企画・構築・運用・管理をご提案しています。☑



太陽光パネル 太陽光発電システム
搭載型K.K.ハウス

カナモト太陽光発電システムの特徴

- 高い耐雪性能
- 国内最高クラスの高出力
- 導入から施工までフルサポート
- 豊富なシステムモジュール
- 業界トップの25年出力保証
- 国際規格に適合した信頼の品質



株価チャート (週足)



株価および売買高 (東証分のみ。単位：円、出来高は千株)

	始 値	高 値	安 値	終 値	出来高
2011年 4月	629	630	563	599	4,477
5月	600	609	517	559	2,254
6月	560	596	511	595	2,032
7月	597	612	586	598	1,307
8月	601	601	488	508	1,875
9月	515	564	490	543	2,534
10月	540	563	520	531	2,846
11月	526	534	456	494	1,446
12月	510	603	497	601	3,078
2012年 1月	610	745	605	713	4,490
2月	718	942	712	905	5,741
3月	900	997	844	984	7,863

[出所]2011年4月～2012年2月：東京証券取引所／2012年3月：YAHOO!ファイナンス

株主メモ (2012年1月31日現在)

資 本 金	96億9,671万円(払込済資本金)
発 行 株 数	32,872千株(発行済株式の総数)
事 業 年 度	11月1日から翌年10月31日まで
株 主 総 会	毎年 1月中
同総会議決権行使株主確定日	毎年 10月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年 10月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年 4月30日

公 告 の 掲 載 当社ホームページ、日本経済新聞*

*当社公告の掲載につきましては、当社ホームページに掲載いたします。
ホームページのURLは下記のとおりです。

<http://www.kanamoto.co.jp> または <http://www.kanamoto.ne.jp>
なお、やむを得ない事由により、ホームページに公告を掲載することができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

株 主 名 簿 管 理 人 及 び 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 事 務 取 扱 場 所	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都千代田区丸の内1丁目4番5号
同 郵 便 物 送 付 先 及 び 電 話 照 会 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7丁目10番11号 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)

株式に関する各種お手続きについて

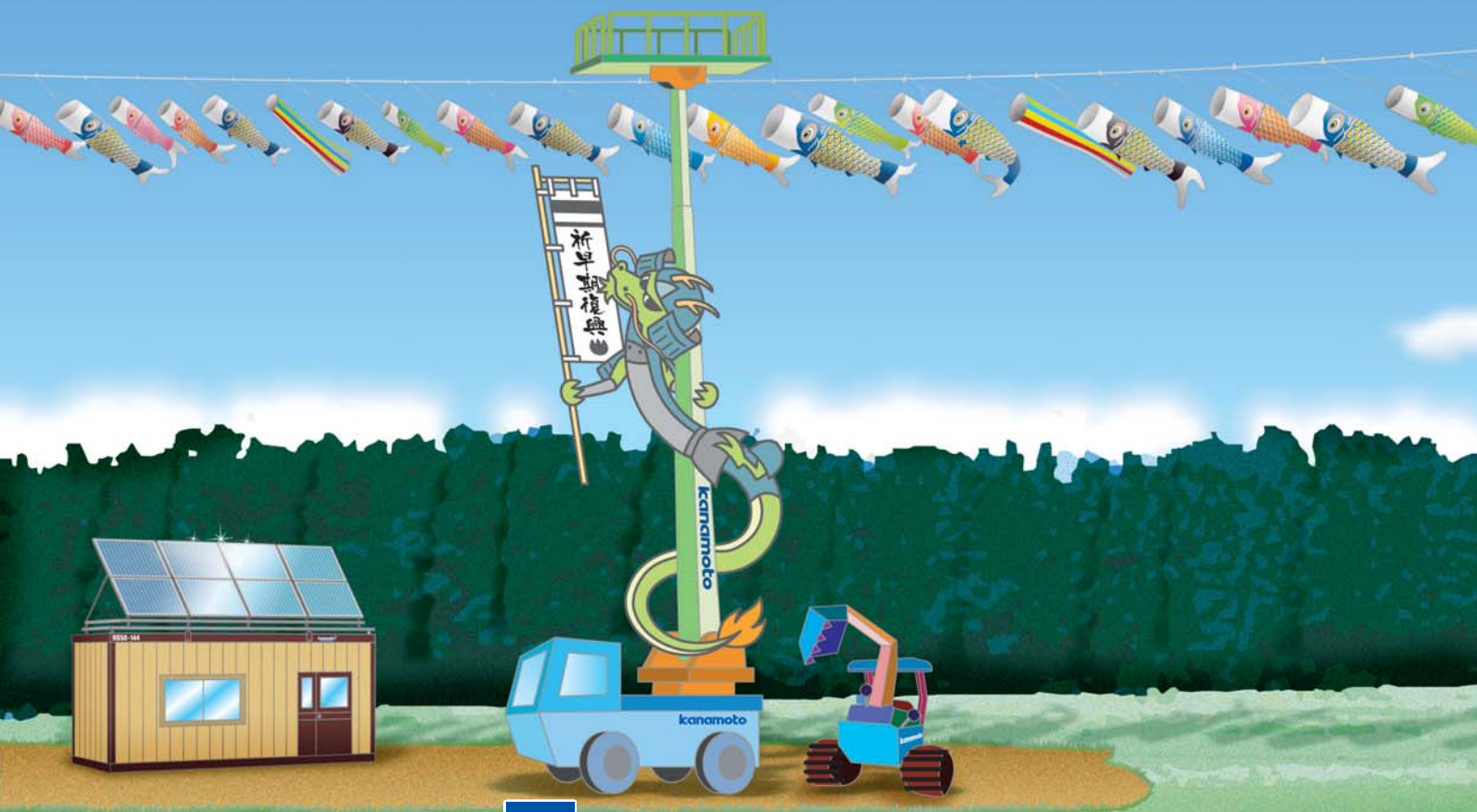
- (1) 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2) 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にでもお取次ぎいたします。
- (3) 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

● 編集後記 ●

時は否応なしに刻まれます。あれからもう1年が経つのですね。被災された皆様に謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い震災復興がなされるよう、カナモトは役職員一同トコトン頑張ります。

さて、ツバルの森IRフォーラム2012大阪、東証IRフェスタ2012では、大勢の皆様にお越しいただきありがとうございました。今年も、東証IRフェスタの初日に第1四半期決算の発表をいたしました処、中間予想よりも利益が出ているのに、何故、上方修正をしないのかとご質問を多く承りました。カナモトは石橋を叩きに叩く、極めて慎重な決算予想をする会社であります。皆様のご期待の大きさは四桁にタッチした株価で重々承知しておりますので、業績予想の修正は、もう少しお時間をいただきたく、ご容赦ください。

ところで、外をみれば季節外れの吹雪であります。もう4月だというのに、何時になったら春が来るのやら…と思ったものの、既に当社にも桜が咲いております。希望に胸ふくらませた新入社員、38名であります。ゆとり世代と揶揄される世代ですが、なかなかどうして立派な青年達でありませんか。カナモトの、否、日本の未来は明るい！と、一人はくそ笑んでしまいました。lcc



株式会社 **カナモト**

(東証一部・札幌 証券コード9678)

〒060-0041 札幌市中央区大通東3丁目1番地19

Tel: (011) 209-1600 (大代表)

www.kanamoto.co.jp